

決算報告

平成22年度

西条市の一般会計、特別会計、企業会計

財政状況をお知らせします

決算のごあいさつ



西条市長
伊藤宏太郎

平成22年度の西条市の決算がまとまりましたので、お知らせします。

一般会計の決算額は、歳入41億2337万円、歳出417億6402万円で、差し引き23億5935万円の剰余（余り）となっています。このうち翌年度へ繰り越した事業に充てるための財源2億9488万円を除いた実質収支は、20億6447万円の黒字となっています。

各特別会計の決算状況やその概要は、別記（4ページ）のとおりとなっています。

平成22年度は、厳しい財政環境が続く中、（仮称）東部一般廃棄物最終処分場整備や、まちづくり基盤整備事業などを計画的に実施するとともに、産業の振興や雇用の創出など、重要な緊急性の高い施策の選択に努め、限られた財源を有効に活用しながら、市域全体の均衡ある発展と更なる一体感の醸成に向けて、積極的に取り組んでまいりました。

今後とも、簡素で効率的な行政運営を心がけ「人がつどい、まちが輝く、快適環境実感都市」の実現に向け、全力を傾注してまいりますので、なお一層のご理解とご協力をお願いします。

予算・決算とは？

予算とは、1年間の収入（歳入）と支出（歳出）に関する見積もりをまとめた「計画」のことです。決算とは、実際の収支をまとめた「実績」に当たります。

市の会計は3種類

一般会計

福祉や教育、道路整備など、市政運営の基本となる会計です。

特別会計

国民健康保険や介護保険など、一般会計と区分する必要がある特定事業の会計です。

企業会計

企業経営という観点から、独立して経理する会計です。

※本文中の金額は、1万円未満を四捨五入しています。

市民1人当たりの計算は、平成23年3月31日現在の人口（114,227人）を基にしています。

平成22年度の主な事業

▶スポーツコミュニティセンター整備事業



▶桜樹公民館便所新築事業



▶北条周布線道路改良事業



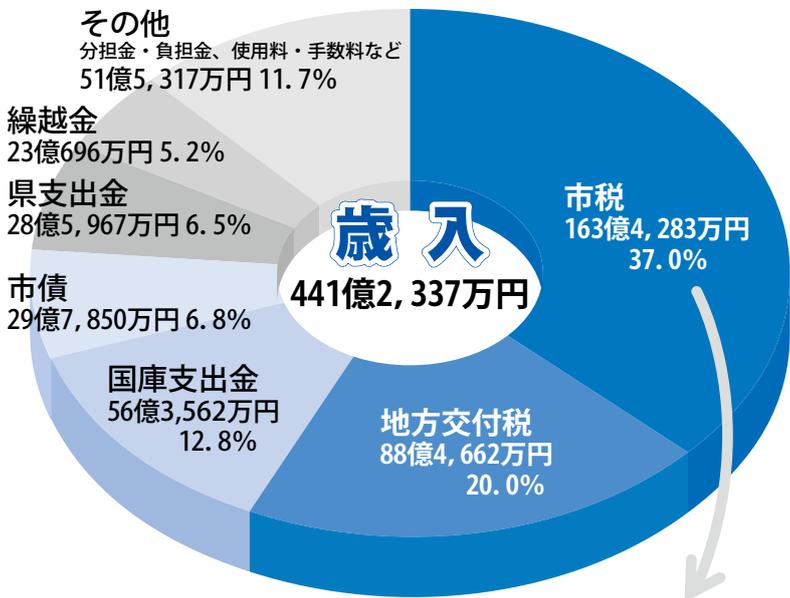
▶宝来団地整備事業



平成22年度一般会計 決算額

予算額 453億1,523万円
歳入 441億2,337万円
歳出 417億6,402万円

●歳入歳出差引額（歳入－歳出） 23億5,935万円… A
 ●平成23年度へ繰り越すべき財源 2億9,488万円… B
 ●実質収支額（A－B） 20億6,447万円

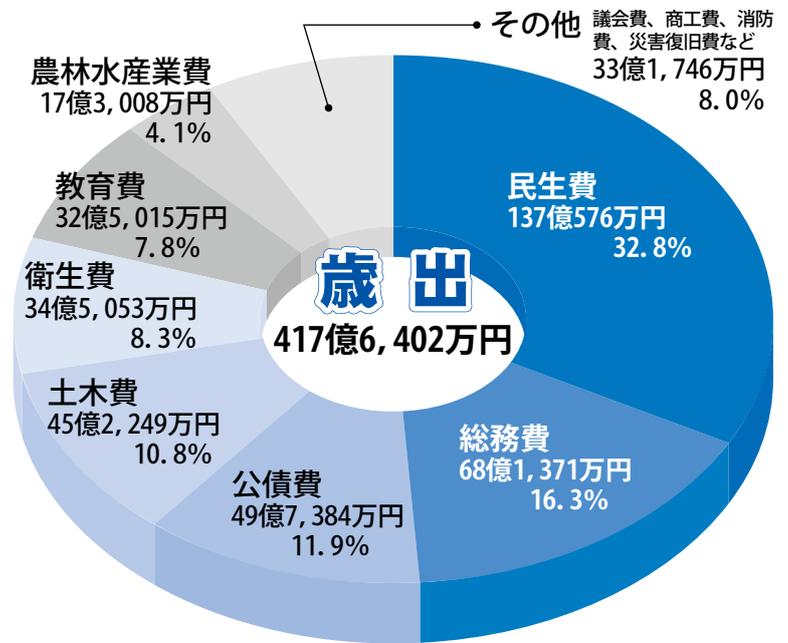


- 市税：市民税や固定資産税など、市民の皆さんに納めていただいたお金です。
- 地方交付税：市の財政状況に応じて国から交付されたお金です。
- 国庫支出金：特定の事業を行うために国から交付された負担金、補助金などのお金です。
- 市債：特定の事業を行うために、国などから借り入れたお金です。
- 県支出金：特定の事業を行うために、県から交付された負担金・補助金などのお金です。
- 繰越金：前年度から持ち越された剰余金のことをいいます。事業を持ち越すことで必要になったお金も含まれます。
- 分担金・負担金：市の事業で特定の利益を受けた人に負担していただいたお金です。
- 使用料・手数料：市の施設の使用や、住民票の交付など、特定の行政サービスを受けた人に負担していただいたお金です。

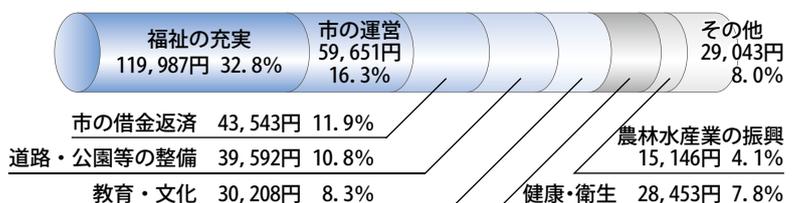
▼市民 1人当たりの税負担 143,073円



- 民生費：社会福祉や医療助成など、安定した社会生活を保障するために使ったお金です。
- 総務費：市庁舎の維持管理や戸籍、徴税、選挙、監査事務など市の総括的な事務に使ったお金です。
- 公債費：国などから借り入れたお金（市債）の返済などに使ったお金です。
- 土木費：道路、河川、公園、市営住宅などの整備や維持管理に使ったお金です。
- 衛生費：健康診断や各種検診、ごみ処理など、健康で衛生的な生活環境を保つために使ったお金です。
- 教育費：幼稚園や小中学校、社会教育や保健体育など、教育各般に使ったお金です。
- 農林水産業費：農業、林業、水産業の振興に使ったお金です。
- 議会費：議会の運営などに使ったお金です。
- 商工費：商工業の振興や観光の振興などに使ったお金です。
- 消防費：消防や救急活動に使ったお金です。
- 災害復旧費：災害によって道路や農地、山林などに生じた被害を復旧するために使ったお金です。



▼市民 1人当たりに使われたお金 365,623円



平成22年度特別会計 決算額

会計区分	予算額	歳入	歳出	差引(歳入-歳出)
国民健康保険	127億8,324万円	124億640万円	122億7,650万円	1億2,990万円
老人保健	2,212万円	1,963万円	1,963万円	0円
介護保険	100億9,351万円	97億4,252万円	94億8,626万円	2億5,626万円
うち介護保険事業勘定	96億2,228万円	92億7,500万円	91億6,662万円	1億838万円
うち介護サービス事業勘定	4億7,123万円	4億6,752万円	3億1,964万円	1億4,788万円
簡易水道事業	1億3,996万円	1億3,078万円	1億3,078万円	0円
公共下水道事業	39億256万円	38億554万円	38億554万円	0円
小規模下水道事業	6,442万円	5,722万円	5,722万円	0円
港湾上屋事業	609万円	597万円	564万円	33万円
ひうち地域振興整備事業	2億145万円	1億8,346万円	1億8,346万円	0円
土地開発事業	426万円	100万円	100万円	0円
小松地域交流事業	2億4,131万円	2億3,678万円	2億3,678万円	0円
本谷温泉事業	2,952万円	2,821万円	2,821万円	0円
住宅新築資金等貸付事業	1,701万円	1,680万円	1,680万円	0円
畑地かん水事業	3,861万円	2,759万円	1,513万円	1,246万円
庄内財産区	578万円	363万円	254万円	109万円
壬生川財産区	464万円	445万円	325万円	120万円
後期高齢者医療保険	12億9,923万円	11億8,813万円	11億6,555万円	2,258万円
合計	288億5,371万円	278億5,811万円	274億3,429万円	4億2,382万円

平成22年度企業会計 決算額

水道事業会計

収入(収益)	7億8,956万円
支出(費用)	7億7,827万円
差引(収入-支出)	1,129万円

病院事業会計

収入(収益)	1億3,288万円
支出(費用)	4億7,030万円
差引(収入-支出)	△3億3,742万円

市の借金(市債現在高)

会計区分	現在高	
一般会計 ①	418億3,035万円	
特別会計 ②	介護保険	4,420万円
	介護保険事業勘定	320万円
	介護サービス事業勘定	4,100万円
	簡易水道事業	8億207万円
	公共下水道事業	230億3,309万円
	小規模下水道事業	1億1,044万円
	ひうち地域振興整備事業	7億2,284万円
	小松地域交流事業	3億7,804万円
	本谷温泉事業	3,342万円
	住宅新築資金等貸付事業	1,737万円
特別会計計	251億4,147万円	
企業会計 ③	水道事業	80億6,468万円
	病院事業	30億2,946万円
	企業会計計	110億9,414万円
合計 ①+②+③	780億6,596万円	

市の財産(市有物件)

土地	2,911万4,978 平方メートル
建物	53万9,674 平方メートル
基金	96億4,438 万円
有価証券	1,924 万円
出資金	2億2,599 万円
債権	5億8,128 万円

決算報告の詳しいお問い合わせは

市庁舎本館財政課 財政第3係
TEL0897-52-1272